

|         |            |      |
|---------|------------|------|
| 講義コード   | 513151902  |      |
| 講義名     | 体育実技 CD    |      |
| (副題)    |            |      |
| 開講責任部署  | 幼児教育科 (短大) |      |
| 講義開講時期  | 前期         |      |
| 基準単位数   | 1          |      |
| 時間      | 0.00       |      |
| 代表曜日    | 火曜日        |      |
| 代表時限    | 4時限        |      |
| 科目分類名   | 教養科目       |      |
| 科目分野名   | C群         |      |
| 対象学部・年次 | 短期大学部・2年   |      |
| 必須/選択   | 必修         |      |
| 担当教員    |            |      |
| 職種      | 氏名         | 所属   |
| 専任教員    | 福田 将史      | 経営学部 |
| 専任教員    | 教務委員会 (短大) | 指定なし |

## 授業の概要

## 授業の概要

## ①授業の方法

身体教育の一環として、体力の向上、健康促進を目標とし、運動やスポーツを通して安心・安全に幼児教育に取り組むことを理解する。準備運動や整理運動の重要性やストレッチの必要性を理解し、各種スポーツのルールや技能を習得し、幼児教育の現場に生かせる実践力を身につける。

## ②授業形態

## 実技

## ③アクティブラーニング

授業の最後に、ルールや技能についての質問受け、解説します。

## ④課題に対するフィードバックの方法

毎回、授業の初めにルール等の疑問点を解説します。

様々なスポーツを体験することで、楽しさ、ルール、マナー、チームワークの他、ストレス解消作用、健康への影響などを学習する。

## 授業の到達目標及びテーマ

現代社会においては、健康を維持・増進するために身体運動が不可欠である。楽しみながら身体を動かしストレスを解消するにはスポーツが最適である。体育実技では、教育的手段としてのスポーツを楽しみながら、効果的に技能を習得し、身体運動としての習慣化の基礎を作ることを学ぶ。

到達目標については、学習成果における①幼児教育者観 ②知識・技能 ③実践力と実務能力 ④人間性と協調性が該当する。特に②③④を重視する。

## 授業計画表

| 回    | 項目                                     |
|------|--|
| 第1回  | 第1回：ガイダンス (場所、服装、遅刻、授業の進め方、評価方法などについて) |
| 第2回  | 第2回：ストレッチングと柔軟体操                       |
| 第3回  | 第3回：バスケットボール① 競技の特色と基本動作の習得            |
| 第4回  | 第4回：バスケットボール② ルールを振り返り自分のプレーを再チェック     |
| 第5回  | 第5回：バスケットボール③ 技術向上の工夫に取り組む             |
| 第6回  | 第6回：バスケットボール④ ゲームの中で自分の動作を確認する         |
| 第7回  | 第7回：バドミントン① 競技の特色と基本動作の習得              |
| 第8回  | 第8回：バドミントン② ルールを振り返り自分のプレーを再チェック       |
| 第9回  | 第9回：バドミントン③ 技術向上の工夫に取り組む               |
| 第10回 | 第10回：バドミントン④ ゲームの中で自分の動作を確認する          |
| 第11回 | 第11回：ソフトバレーボール ゲームルールのもとで実践体験          |
| 第12回 | 第12回：バレーボール① 競技の特色と基本動作の習得             |
| 第13回 | 第13回：バレーボール② ルールを振り返り自分のプレーを再チェック      |
| 第14回 | 第14回：バレーボール③ 技術向上の工夫に取り組む              |

|      |              |                  |
|------|--------------|------------------|
| 第15回 | 第15回：バレーボール④ | ゲームの中で自分の動作を確認する |
| 第16回 | レポート課題提出     |                  |

## 授業時間外の学修

歩くこと、階段昇降、身体を動かすことなどを常に意識して日常生活を送ること。

次回の運動の内容、スポーツ種目の最新のルールを各自で調べ、授業の初めに説明できるようにしておく。必ず事前に準備学習（予習）として種目のルールを理解して授業に臨む。

## 実務経験の有無

## ディプロマポリシーとの関連

| ディプロマポリシー①③ | ディプロマポリシー②  | ディプロマポリシー④     | ディプロマポリシー⑤⑥   |
|-------------|-------------|----------------|---------------|
| 自律学習能力の修得   | 専門的知識・技術の修得 | 分析・論理構成・表現力の修得 | 問題解決能力・協働性の獲得 |
| ◎           | ◎           | ◎              | ○             |

## ルーブリック

| 評価項目               | 優秀 (excellent)                                 | 平均 (average)                             | 途上 (developing)                                   | 未達 (unachieved)                           |
|--------------------|--|--|---|---|
| 実技内容の理解<br>(予習も含む) | 自ら進んで実技に関する内容を調べ理解できており、その内容を他者にも詳しく説明することができる | 実技に関する内容を調べ理解できており、その内容を他者にも概ね説明することができる | 実技に関する予習はやれているが、その内容理解はあいまいな点がある                  | 実技に関する予習が不足しているため、その補充を教員が助言している          |
| レポートカ<br>(レポート内容)  | 実技のテーマについて、データを正しく分析しながら詳細な考察をまとめている           | 実技のテーマについて、データを分析しながら考察をまとめている           | 実技のテーマについて、データを分析しながら考察をまとめているが、内容についてあいまいな点が少しある | データをもとにしたテーマについての分析がなされていないので、手厚い支援を行っている |
| レポートカ<br>(主題の明確化)  | レポートの根幹である主題が十分に明確になっている                       | レポートの根幹である主題が明確になっている                    | レポートの主題がなんとか読み取れる                                 | レポートの主題が読み取れない                            |

## 成績評価法（表形式）

|         | 評価基準 | 備考 |
|---------|------|----|
| 定期試験    |      |    |
| 小テスト等   |      |    |
| 成果発表    |      |    |
| 授業への貢献度 | 50%  |    |
| レポート    | 50%  |    |
| その他     |      |    |

## 課題へのフィードバック方法

|                  |               |                   |
|------------------|---------------|-------------------|
| 定期試験や小テストの結果について | 課題（レポート等）について | 模擬授業、プレゼン、発言等について |
|------------------|---------------|-------------------|

|   |                         |             |
|---|-------------------------|-------------|
| その都度解説、講評する   | 授業の冒頭で解説、講評する           | その都度解説、講評する |
| <b>ICTを活用した双方向型授業の内容</b>  |                         |             |
| 用<br>用  | チャット<br>掲示板の活<br>メール等の活 |             |
| <b>アクティブラーニングの割合</b>  |                         |             |
| 総授業時間数の60~100%程度のアクティブラーニングである  |                         |             |
| <b>アクティブラーニングの内容</b>  |                         |             |
| 書く・話す・発表する等の活動におけるAL  | 経験値・技能を高める活動におけるAL      | 授業時間外におけるAL |
| 用<br>小テストや授業内レポートの活   | フィールドワーク                | 授業後レポート     |
| <b>教科書</b>  |                         |             |
| 必要に応じてプリントを配布したり、板書によって授業の内容を説明しながら進めていく。   |                         |             |
| <b>参考書</b>  |                         |             |
| インターネットで運動の内容やスポーツの最新ルールについて検索する。   |                         |             |
| <b>SDGsとの関連</b>   |                         |             |
| に   | 4. 質の高い教育をみんな           |             |
| <b>特記事項等</b>  |                         |             |
| ※ 授業での着衣は名前の確認できるものに限る。<br>(短大指定のジャージ、Tシャツ、短パン、体育館シューズなど)   |                         |             |
| 【特記事項】  |                         |             |
| ①実務経験のある教員 なし   |                         |             |
| ②ナンバリング LCU 2401  |                         |             |
| オンライン授業の実施方法  |                         |             |
| Teamsによる教材提供、リアルタイム授業、小テスト、レポート等、また、ハイブリッド式授業を行う。   |                         |             |
| <b>研究室（訪問先等）</b>  |                         |             |
| 中央研究棟4階 430研究室（直接来室すること）  |                         |             |
| 火、水、木、金が出校日です、火曜の5限目がオフィスアワーです。   |                         |             |
| <b>電話番号</b>   |                         |             |
| 028-670-3780（研究室直通）   |                         |             |
| <b>授業用E-mail</b>  |                         |             |
| <a href="mailto:m-fukuda@sakushin-u.ac.jp">m-fukuda@sakushin-u.ac.jp</a>  |                         |             |
| <b>成績評価法</b>  |                         |             |
| 平常点（50%）技能レベル、取組み姿勢、授業態度（服装、私語、携帯使用含）から総合的に評価します。レポート（50%）の内容で評価します。<br>毎回授業の終わりに復習カードによる内容理解度確認の提出を求めるが、これも課題への取り組みとして成績評価に含まれる。 |                         |             |